

○ 本校の概要

本年度は、1学年3学級、2学年2学級、3学年3学級、生徒数262名(5月現在)の規模となった。また、みらい学園中等部(不登校特例校分教室)の3学級に23名の生徒が在籍している。本年度の重点課題は「タブレット等ICT機器を活用した分かりやすい授業」、「思いやりや主体性を育む体験活動や学校行事」、「特別な支援を必要とする生徒や不登校生徒の理解」について一層の推進・充実を図ることとし、子供たちにとって御園中学校が一層「魅力ある学び舎、誇れる学校」となることを目指している。

「生徒が目標をもち、自己の能力と創造性の伸長に努めるとともに、毎日明るく元気に登校できる学校」「家庭、地域の教育力を生かすとともに、保護者が安心して生徒を任せられる学校」「教職員が一人一人を温かく見つけ、楽しく分かりやすい授業に生徒が目を輝かす学校」「秩序と潤いがあり、生徒相互が良き仲間として支え合い、競い合い、励まし合って健やかに成長できる学校」

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学力の向上', '子ども一人ひとりの正義感、自己肯定感、自己有用感などを高めることと、自他の生命を尊重する心を育成すること、未来への希望に満ちた豊かな心を大きく見ます。', 'スポーツに親しむ育成や運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。', '児童・生徒が学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作りまします。'

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。  
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す